

令和2年度 第1回鹿児島市環境審議会 会議概要

【日 時】

令和2年7月27日（月） 10時45分～11時54分

【場 所】

市役所本館2階 特別会議室

【出席委員】

伊荻委員、江口委員、長船委員、小山委員、諏訪委員、徳留委員、富安委員、西委員、西園委員、二宮委員、三原委員、宮本委員、森田委員

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 会長、副会長選出
- 5 説明
 - (1) 環境審議会について
 - (2) ゼロカーボンシティかごしまについて
 - (3) 第二次鹿児島市環境基本計画及び
鹿児島市地球温暖化対策アクションプランについて
 - (4) 鹿児島市再生可能エネルギー導入促進行動計画について
 - (5) 鹿児島市生物多様性地域戦略について
 - (6) 鹿児島市一般廃棄物処理基本計画について
- 6 質疑応答・意見交換
- 7 その他
- 8 閉会

【会長、副会長選出について】

会長・・・富安 卓滋 委員（鹿児島大学大学院理工学研究科教授）

副会長・・・宮本 旬子 委員（鹿児島大学大学院理工学研究科教授）

【議事概要】

<コミュニティサイクル運営事業について>

委 員：サイクルポートの再編として、市役所ポートと中央公園ポートの8基ずつ移すということは、増設ではないという理解でよいか。自転車の増台は考えていないのか。

事務局：できるだけ多くの利用者が見込めるエリアに有効にサイクルポートを配置しようという計画である。自転車の増台については、今年の3月から20台増やしている。

<かごしま生き物ラボについて>

委 員：内容は良くできているが、教育委員会との連携はどのようになっているか。

事務局：作成の段階から教育委員会と連携しながら進め、昨年4月からウェブ上で公開するとともに副読本も作成したほか、その活用例を作り、実際の授業で同ラボを使ってもらえるような取組を進めている。

<庁舎電力100%再生可能エネルギー化事業>

委員：どのような仕組みなのか。

事務局：市が小売電力事業者から、化石燃料を使っていないという非化石証書を付けた再生可能エネルギー電力を購入することで、現在、本庁舎が使用する電力はゼロカーボン電力を使用しているということになる。

<剪定枝資源化事業について>

委員：市内の中心部と郊外とでは庭木の取扱がだいぶ異なる。市としては、各家庭でどういう処理・利用の仕方をしてほしいと考えているのか。

事務局：各家庭によって状況は異なるが、剪定枝が大量・頻繁に発生する世帯に対しては、粉碎機の購入費補助や無料貸出を行い、各家庭で剪定枝をチップ化し、雑草防草剤やたい肥の原材料として活用してもらうことなるべく家庭ごみを出さないように取り組んでほしいと考えている。

<ゼロカーボンシティかごしまについて>

委員：2050年までに何の値がゼロになれば達成というふうに見做すのか。

事務局：自動車や船舶など運輸部門での排出削減、我々が使用する電気を再エネに転換していくなど、各分野での取組でCO₂をできる限り抑えていく。さらに、森林などCO₂の吸収源を増やす部分とを合わせて、2050年までに計算上の実質ゼロを目指すものである。